

# ACライト電波クロック 取り扱い説明書

このたびは、本製品をお買い求めいただき、ありがとうございます。取り扱い説明書を最後までお読みの上、ご使用ください。また、お読みになった後もこの取り扱い説明書を大切に保管してください。

## お取り付け・ご使用前に必ずお読みください

### 警告

●本製品の取り付けが困難な場合や、本製品を取り付けると運転操作やエアバッグ作動の妨げになる場合はご使用をおやめください。事故の原因になります。●本製品の分解、改造、電池の⊕⊖逆接続などは絶対におやめください。故障・破損・感電・ショートの原因となります。●走行中の運転者は本製品の操作を行わないでください。事故の原因になります。●小さい部品（電池など）があります。誤飲、誤食の危険がありますので、お子様には絶対に与えないでください。

### 注意

●本製品は車内・室内専用です。車外や雨・水のかかる可能性のある所には取り付けしないでください。●屋内駐車場、地下駐車場、ビルの谷間、電波塔など強い電波の発生源近くなどでは、電波が受信できない場合があります。●走行中は電波の受信が困難です。停車した状態で受信するようにしてください。（初期設定時に強制受信で時刻を合わせる場合は停車した状態で受信するようにしてください。）●エアコン吹き出し口以外に取り付ける場合、革（合成皮革を含む）・布生地、曲面のきつい場所には取り付けしないでください。●落としたり、叩いたり、強い衝撃を加えないでください。●極端な高温または低温の状況下では、液晶画面が黒くなり表示が見えなくなる場合がございますが故障ではありません。常温になりますと液晶表示は元に戻ります。●直射日光が常時あたるといった場所に取り付けた場合で、炎天下で長時間車から離れる際は、日光のあたらない場所に一時的に時計本体を保管してください。●電池残量が少なくなると、時刻は表示されていてもバックライトが点灯しなくなる場合がございます。●使用電池はLR44タイプです（2個使用）。ご使用済みの電池は速やかに交換するか、製品から外してください。そのままにしておくと電池の特性上、液漏れを起こす場合があります。●交換した古い電池は、新しい電池を購入したお店に処分をご依頼してください。●本製品を取り外した際、取り付け部分が多少変色したり、日焼けによる取り付け跡が残る場合があります。予めご了承ください。●エアコン吹き出し口に取り付ける場合、エアコン送風を極端な高温・低温でご使用する場合は、本製品を外してください。また、極端な温度状況下では結露して液晶機能が停止する場合がありますが、完全乾燥すると正常に戻ります。●エアコン吹き出し口に取り付ける場合、エアコンのオートスウィング機能は作動させないでください。エアコンフィルターの破損の原因になります。●上記の警告・注意に従わない場合など、誤ったご使用をされた際の事故・故障・破損等につきましては、当社では一切その責任を負いかねます。

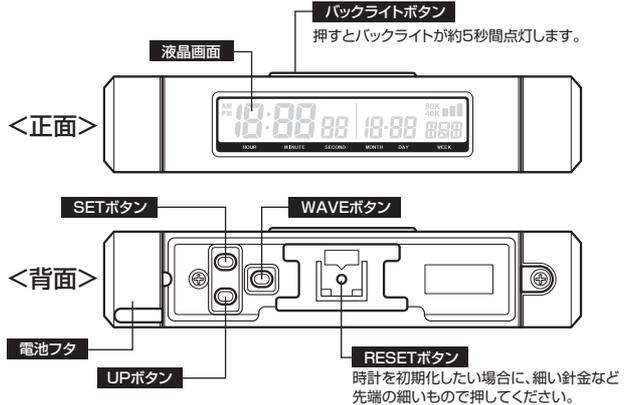
## 電波時計製品仕様

受信電波	長波JJY(標準電波)
受信周波数	40kHz(福島長波局) / 60kHz(九州長波局)
電源	電池(LR44 × 2個)
液晶表示内容	時 / 分 / 秒 / 月 / 日 / 曜日 / 受信電波局 / 電波状態
自動受信	1日4回(AM2:00、AM3:00、AM4:00、PM4:00)
時計性能誤差	60秒/月(標準電波を受信しない状態での性能誤差)

## トラブルシューティング (このような場合の対処法)

トラブル内容	対処法	補足
電波を受信しない	24時間そのままにしておく	自動受信する時間帯が最も電波を受信しやすい環境です。手動で時刻設定した後、24時間そのままにして自動受信させてください。
	受信環境を変えて受信をやりなおす	受信場所などを変えて、強制受信させてください。もしくは手動で時刻設定した後、受信場所などを変えて24時間そのままにして自動受信させてください。
電池を入れても画面が表示されない	リセットする	本体背面のRESETボタンを、先端の細いもので押して、時計を初期化してください。
	電池を入れなおす	一度電池を取り外して、電池の向きを確認して再度電池を入れ直してください。
電池を入れた後、新しい電池に取り替える	新しい電池を取り替える	電池寿命の可能性もありますので、新しい電池に取り替えてください。最初から付属の電池は「お試し用」です。商品の流通状況によっては自然放電により、寿命が著しく短い場合があります。
	リセットする	静電気などにより、内蔵しているマイコンが誤作動し、時刻遅いなどが発生する場合があります。本体背面のRESETボタンを、先端の細いもので押して、時計を初期化してください。
電波受信が成功しているにもかかわらず時刻表示が時報と合わない	リセットする	静電気などにより、内蔵しているマイコンが誤作動し、時刻遅いなどが発生する場合があります。本体背面のRESETボタンを、先端の細いもので押して、時計を初期化してください。
時計は表示されるがバックライトが点灯しない	新しい電池に取り替える	電池残量が少なくなると、時刻は表示されていてもバックライトが点灯しなくなる場合があります。お早めに新しい電池に取り替えてください。

## 本体機能



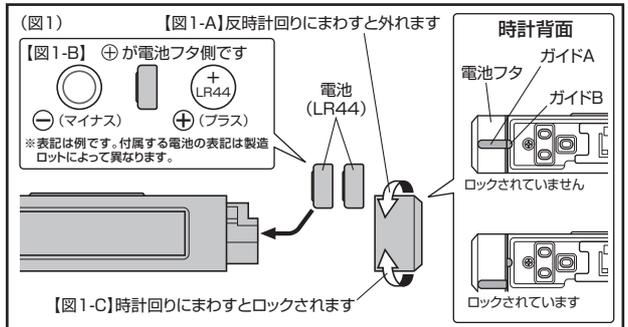
## 液晶画面 ※W620は反転液晶になります。



※1 電波受信中は点滅します（電波受信中は電波状況に応じてアンテナ表示が変化します）。電波受信に成功すると、受信した電波基地局の周波数が表示され、アンテナ3本が表示されます。受信に失敗した場合はすべて消灯します。

## 時計のセッティング

- お求めいただいた直後の状態では、時計は起動しておりません。使用できるようにするためのセッティングを以下の手順で行ってください。
- 時計液晶面の保護シールを剥がしてください。
- 時計側面の電池フタを反時計回りにまわして取り外してください。（図1-A）
- 付属の電池2個を ⊖ 側が外側（電池フタ側）になるように、上側からすべり込ませるようにセットしてください。（図1-B）
- ※電池の⊕⊖を間違えないように注意してください。
- ※電池をなくさないように注意してください。
- 電池フタを再びあてがい、時計回りにまわして取り付けてください。（図1-C）
- ※最初から付属の電池は「お試し用」ですので、寿命が短い場合があります。
- 時計本体の電源が入り、液晶画面が全点灯した後、「1月1日AM12:00」から時計が起動します。そして自動的に電波受信を開始します。
- ※電波の受信には最大約16分かかります。詳しくは「標準電波の自動受信」を参照してください。
- ※屋間は電波の受信が難しい環境です。受信に失敗した場合は、「手動時刻設定」を参照して時刻を合わせてください。
- 現在時刻の設定が完了したら、「取り付け方法」にしたがって取り付けてください。

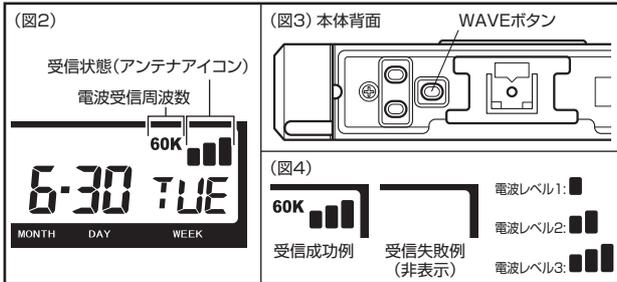


## 電池の交換方法

- 上記「時計のセッティング」の（図1-A）（図1-B）（図1-C）を参考にして電池を取り替えてください。
- ※最初から付属の電池は「お試し用」ですので、寿命が短い場合があります。
- ※使用電池はLR44タイプです（2個使用）。
- ※ご使用済みの電池は速やかに交換するか、製品から外してください。そのままにしておくと電池の特性上、液漏れを起こす場合があります。
- ※交換した古い電池は、新しい電池を購入したお店に処分をご依頼してください。

## 標準電波の自動受信

- 本製品は一日に4回(AM2:00、AM3:00、AM4:00、PM4:00)自動受信を行い、時刻の補正を行います。その日の自動受信で一回受信に成功すれば翌日(AM2:00)まで自動受信は行いません。
- まず40Kでの電波受信を行い、約8分間で受信しなかった場合、受信周波数が60Kに自動的に切り替わり、約8分間受信を試みます。(図2)
- 40Kの受信中にWAVEボタンを押すと、60Kの受信に切り替わります。(図3)
- 60Kの受信中にWAVEボタンを押すと、電波受信を終了します。その際、アイコン表示は受信失敗時のものになります。(図3)(図4)
- 受信が終了するまでWAVEボタンとバックライトボタン、RESETボタン以外は作動しません。電波受信中は電波受信周波数が表示され、受信状態を示すアンテナアイコンが点滅します。(図3)
- 電波受信中は、電波レベル(受信しやすさ)によってアンテナアイコンの表示数が変わります。電波レベルが1~2のときは、受信しにくい環境ですので、受信環境を変えてみてください。(図4)
- 電波受信が成功すると、アンテナアイコンと受信した周波数が液晶画面に表示され、標準時刻に補正されます。(図4)
- 電波受信に失敗した場合、周波数とアンテナアイコンは表示されません。(図7)
- ※電池を入れた直後の自動受信に失敗した場合は、必ず「**手動時刻設定**」を参照して時刻を合わせてください。



## 標準電波の強制受信

- 電波アイコンが表示されていない時などに、ボタン操作でいつでも標準電波を受信することができます。(電波送信所の定期保守実施時には電波送信が停止されます。その際は電波受信できません。詳しくは「日本標準時プロジェクト」のホームページhttp://jijy.nict.go.jp/でご確認ください。)
- WAVEボタンを約2秒間押し続けると、強制的に電波の受信を行います。電波受信中の表示・操作に関しては、「標準電波の自動受信」を参照してください。(図3)
- 受信に成功すれば、翌日(AM2:00)まで自動受信は行いません。
- ※受信に失敗した場合、同じ環境で再度強制受信をしても受信を成功させることは困難です。「手動時刻設定」を参照して時刻を合わせるか、自動受信を待ってください。

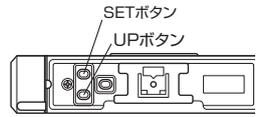
5

## 手動時刻設定

- 電波の受信ができない場合や、購入後などですぐに時刻を合わせたい場合などは、手動で時刻を設定することができます。
- 数字はUPボタンで1ずつ進んでいきます。数字は1周ループしないと戻れませんのでご注意ください。(西暦は最大2099まで進んで、2009に戻ります)
- 「年(西暦)」→「月」→「日」→「時」→「分」の順に設定していきます。「分」まで確定すると通常状態に戻り、時計がスタートします。

### 1 手動時刻設定のスタート

- 時計の手動時刻設定には、本体背面のSETボタンとUPボタンを使用します。
- 本体背面のSETボタンを約2秒間長押ししてください。
- ※手動時刻設定中は、UPボタンを1回押すと数字が1つ繰り上がり、長押しすると連続で数字が繰り上がります。
- ※手動時刻設定中に何も操作せずに30秒経過すると、自動的に通常状態へ戻ります。設定した項目は記憶されます。



### 2 年(西暦)の設定

- 「年(西暦)」の下2桁が点滅表示します。UPボタンを押して現在の「年(西暦)」に合わせてください。
- ※2099まで増加した後は、2009に戻ります。
- SETボタンを押すと確定します。

年(西暦)の設定



### 3 月の設定

- 「月」が点滅表示します。UPボタンを押して現在の「月」に合わせてください。
- SETボタンを押すと確定します。



### 4 日の設定

- 「日」が点滅表示します。UPボタンを押して現在の「日」に合わせてください。
- SETボタンを押すと確定します。



### 5 時の設定

- 「時」が点滅表示します。UPボタンを押して現在の「時」に合わせてください。
- SETボタンを押すと確定します。



### 6 分の設定

- 「分」が点滅表示します。UPボタンを押して現在の「分」に合わせてください。
- ※UPボタンを1回でも押すと、「秒」が00にリセットされます。
- SETボタンを押すと確定し、通常の現在時刻表示に戻ります。



完了

6

## 取り付ける前に

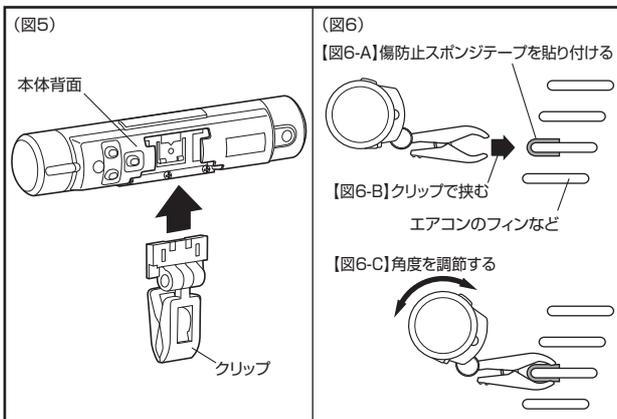
- 本製品の取り付け、ご使用が困難な場合、または運転の妨げになる場合は無理に取り付けしないでください。脱落等による事故や故障、破損の原因になります。
- エアコン吹き出し口に取り付ける場合は、エアコンのオートスイング機能は使用しないでください。
- エアコン吹き出し口以外に取り付ける際は、安全の為、運転の妨げやエアバッグ作動時に影響がないよう取り付けてください。また、革(合成皮革含む)、布生地、曲面のきつい場所には取り付けしないでください。
- 本製品は車内・室内用です。車外・屋外にはご使用しないでください。
- 直射日光が常時当たるような場所に取り付けする場合は、本体が変形するおそれがありますので、炎天下で長時間車から離れる際は、クリップから本体を外して保管してください。

## 取り付け方法

- 本製品にはクリップと金属ステーが付属しております。お好みの取り付け方法にてご使用ください。

### クリップ取り付け

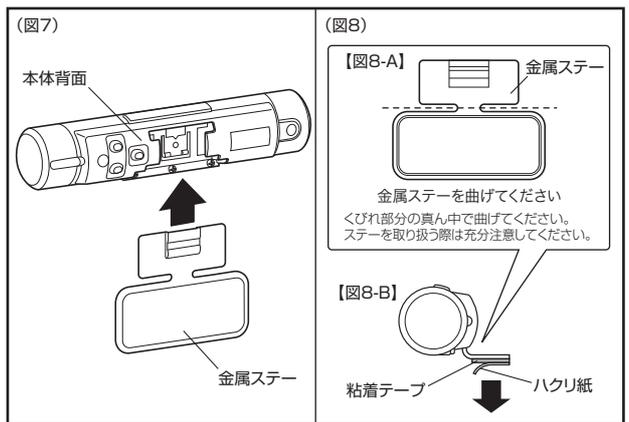
- 本体にクリップを取り付けてください。(図5)
- 取り付けたいエアコンのフィンなどに、傷防止スポンジテープのハクリ紙をはがして貼り付けてください。(図6-A)
- 貼り付けたスポンジテープをクリップで挟んで固定してください。(図6-B)
- 時計を見やすい角度に調節してください。(図6-C)



7

### ステー取り付け

- 貼り付ける場所の光沢剤(特に新車)、ゴミ、ホコリ等を中性洗剤を使用してよく拭き取り、充分乾かしてください。
- 本体に金属ステーを取り付けてください。(図7)
- 貼り付ける場所を決め、時計が見やすい角度になるように金属ステーを曲げて(図8-A)、粘着テープのハクリ紙を剥がして、しっかりと貼り付けてください。(図8-B)
- ※貼り直しは、粘着テープの粘着力が低下しますのでお避けください。
- ※取り付け後24時間は粘着テープの粘着力を得る為、強い力を加えないでください。



※仕様及び外観は、改良のため予告なしで変更する場合がありますのでご了承ください。

本製品に関するお問い合わせは…**☎047(420)0755**  
受付時間/AM10:00~PM6:00月曜日~金曜日(祝日休業)  
〒273-0023 千葉県船橋市南海神1-2-5

株式会社 **セイワ** <http://www.seiwa-c.co.jp>  
〒134-0092 東京都江戸川区一之江町3000番地

8